

保護者のみなさまへ

令和 8 年1月に施設関係者評価の保護者アンケートを実施しました。初めての試みでしたが、回答率 65%でした。お忙しい中、御協力ありがとうございました。

同月、令和 8 年1月 19 日(月)～23 日(金)の 5 日間で、縄瀬小学校校長をはじめ、宮崎県幼児教育センター、都城市内の教育・保育関係者をお招きして、当園の保育環境をご覧いただきました。

保護者アンケート・保育関係者評価の結果は、市に報告する予定です。また、保護者アンケートをはじめとするこれらの報告は、ホームページにもアップする予定ですので合わせてご覧ください。

保護者のみなさまをはじめ、多くのご意見や評価を頂戴し、教育・保育の向上を図ってまいります。今後とも引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

ご意見は、本文そのまま載せております。回答と合わせてお読みください。

①今年、積み木で塔を作るのも子どもたちがなかなかしないから大人が促した。話を聞いて子どもたちはその素材でそれを作りたかったのかな？と疑問に思いました。ねらいや目的によって変わるといいますし、去年の 5 組への憧れもあるかもしれないから、そこらの子ども達のやりとりはわからないですが…言われたからやる。ではなく、楽しく協力して作り上げていく(例えば、途中で終わったとしても)経験の方が出来たらいいなと思いました。

○コメントのとおり、私たちも子ども達が遊びの中で、友だちと作り上げていく楽しさや想像力が育っていけるよう環境を整えていきたいと考えております。今回の塔は、「海に浮かぶ街が作りたい」と子どもの呟きから遊びが始まりましたが、表現のイメージが難しく、表現のきっかけとして大人が、塔を一つ作り遊びが継続しました。今回の様に表現したいが、イメージがわからない際に、建物の絵を飾り視覚的に伝えたり、図鑑や本で関連する事を一緒に調べたり、知識を足してよりイメージに近い表現ができる関わりを意識しております。遊びが途中で終わってしまう事もよくありましたが、大作を作り上げた際は、子ども達も続けたいとの思いが強くなってきた事もあり、その度に、年長を中心とした「こども会議」を通して遊びの継続を子ども達と一緒に考えております。今後も、子ども達と共に表現する遊びを楽しめる工夫をしていきたいと思っております。

② いつも子どもをまん中に、子どもたちの意見を大切に、保育をしていただいているので、安心して頂けることができます。ありがとうございます。

③ 普段の子どもの様子をキッズリーで見れたり、わんぱくフェスティバルや遊びと学びの発表会で遊びの中でできるようになったことを披露してくれたり、家では見られない子どもの成長を見ることが出来るのがありがたいです。みんなと同じことだけでなく、それぞれやりたい事をさせてもらえる環境が自信につながっている気がします。ありがとうございます。

④ 送迎の際に、網戸の建付けが悪く、扉が閉まらなかったり、網戸が外れたりします。自分で直そうと努力するのですが、先生方が代わって下さり、直しているところを見ると大変申し訳なく思います。建て替え予定があるのか気になります。

○ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。再度、業者への修理依頼を早急に致します。ご不便をおかけしております。しばらくお待ちくださいませ。建て替えに関しては、今のところ予定はありません。

⑤ いつもすごく丁寧に子どもにかかわっていただきありがとうございます。土曜保育の利用についての園からの手紙に圧を感じました。土日はゆっくりしたいというのも、仕事の場合のみというのも理解しています。土曜日、本当に仕事で利用している方が預けにくくなってないといいなと思いました。

おおむたと合同で保育しているのも、子どものためなのか、誰のためなのか？と思いました。小さい子は特に担当制保育を大切にして下さっているのに、環境を変えて保育をする利点はなんだろう。と思っていました。色々すみません、そこだけ心に引っかかっていた。このような機会があったので、記入しましたが、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。いつもありがとうございます。

○不快な思いをさせてしまい、大変申し訳ございません。近年、土曜保育の利用が3名から5名、時期によっては3名以下になる日もありました。令和7年度土曜利用が年間で、0歳児利用なし 1歳児2回(両日半日)2・3歳児利用なし。4歳児40回。5歳児32回でした。ご利用のお子さんが、4・5歳以上児であった為、おおむたとの合同保育を開始した所です。おおむたとの合同保育の場合は、縄瀬職員が必ず1名勤務します。場所や環境が異なり、お子さんや保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。012歳児が出席の場合は、同クラスに縄瀬職員が入っております。たとえ子ども1名であっても保育士2名、調理担当1名計3名の配置が義務付けられております。そして土曜に勤務した職員は、翌週に必ず振替休日をとる事になっております。

おおむたこども園で合同保育をする場合は、保育士と調理担当2名を減らすことができ、その分、平日の振替休日をとる職員が少なくなります。よって、平日に職員が万全の人員配置で保育ができる利点があります。

⑥ いつも、職員の皆様が温かく迎えて下さり、穏やかで余裕のある雰囲気を感じます。また子ども達をよく見てくれているな、子どもの成長を見逃さないでいてくれているなど嬉しい気持ちでいっぱいです。保育室や園庭がいつも綺麗で、色々なところまで目が行き届いているんだらうなという印象を持ちます。迎えに行くと子ども達が、子どもらしく生き生きと遊んでいる姿を見ます。園庭の環境、保育室の環境はもちろん、職員の皆さんの温かな声掛けや見守りがあるからだと思っています。

園長が、自由保育ではない、ルールがある中で遊びを子どもが選択する、そのために環境を設定しているとお話がありました。我が子の集中力、粘り強さ、創意工夫、発想力、手先の器用さ、運動能力など遊びながら身につけてきていて、遊びは学びだなと身をもって感じます。これからの我が子の成長がとても楽しみです。いつもありがとうございます。

⑦ 自分の親世代は、保育園でひらがなや数字を教えないのはおかしいと言ってきます。まだ、社協のような保育が、田舎の保育施設には広がっていきなく、「こうできないのはおかしい」と子どもができない事をすごく指摘されます。また、自宅近くの保育園でないと小学校での友だちも心配されます。保育園での数字や英語等がないと小学校で心配とも言われます。何度説明しても、わかってもらう事は難しいです。そう言った田舎の保育施設や祖父母世代にも、このような保育が広まってくると子ども達ももっとのびのび生活できるのではと思います。

○文字や数への興味は、図鑑を見たり、虫を捕まえたり遊びや生活を通して自然と習得していきます。興味や関心を持つ事に個人差はありますが、本人の興味がでるタイミングを大切にしたいと思います。ただ興味がわくタイミングを待つのではなく、それぞれの年齢にあった、絵カードやカード遊び等を豊富に揃え、数や文字への関心を高める

環境を意識しております。「5 歳児のおわりに、ひらがなを読める。英語を話せる」といったような文言は、保育所保育指針や認定こども園保育教育要領にもありません。遊びを通して、文字や数に関心が持てる仕掛けを意識していきます。このような教育・保育の考えを祖父母世代へお伝えするのは難しいですが、社協園のInstagram等も活用して頂きたいと思います。子ども時代の遊びの重要性を、写真や動画、分かりやすいコメントを添えて配信していきたいと思います。

おわりに

平成 27 年度より、旧態依然の大人主導型の教育・保育方針を見直してきました。子どもたちが自ら遊びを選択し、遊び込む「子どもが主体の教育・保育」へと変換し、約 10 年が経とうとしています。子ども達の遊び込む時間の確保から、保育改革と並行し行事の見直しも行ってきました。「遊びの延長に行事がある」ことから、練習をしない行事のあり方を実践してまいりました。保護者のみなさまより、不安の声や多くのご意見も頂戴しました。

今回、初めて保護者アンケートを通して、多くのご意見を頂戴致しました。少人数の関わりから生まれる縄瀬保育園らしい温かみのある日常は、保護者様のご協力と日頃からのご理解があつてです。今後とも 0・1・2 歳児の育児担当制保育と 3・4・5 歳児の異年齢児保育によるこどもが主体の教育・保育を実践していきます。子どもたちと共に遊びを共有しながら、私たち大人も共に学びを深め、進化し続けたいと強く感じます。令和 8 年度も宜しくお願い致します。

縄瀬保育園 園長 富永 俊江